

5/11 鮮やかにバラが咲き誇る

～ばら祭り～

▶花壇周りは段差がないので、車いすの人でも安心です。



浄水センター横のおもや市民花壇でばら祭りは開催されました。1,000人ほどが訪れ、1,900株の赤・白・オレンジなど色とりどりのバラを楽しみました。バラの香りが漂う会場では、バラの苗の販売、歌や踊りなどの披露も行われ、にぎわいを見せました。

来場者は「ことしのバラがあまりにもきれいだったので、バラの苗を買いました。きれいなバラを咲かせられるよう頑張ります」と、笑顔で話していました。

5/14 看護の心をみんなの心に

～看護の日フェスタ～

▶10人の有明高校生も実習生として活躍しました。



フローレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日の「看護の日」にちなみ、市民病院で、同病院看護師会主催の「看護の日フェスタ」は行われました。血圧・骨密度などの測定や保健師などへの健康相談を無料で受けることができ、多くの人自身が健康をチェックするため、来院しました。毎年友人と参加している人は「今の体の状態を知ることができ、助かっています。ことしも異常がなかったのが、よかったです」と、安堵の表情を浮かべていました。

5/17 有明優都戦略 アジサイで溢れる憩いの場へ

～アジサイ公園づくり～

▶「花が咲くのが楽しみ」と、参加者同士の会話にも花が咲きました。



運動公園野球場東側の空き地で除草作業と15株のアジサイの植樹が行われました。市内外で親しまれる公園をつくろうと荒尾ライオンズクラブ、荒尾市花いっぱい推進協議会、地域住民など40人ほどが爽やかな汗を流しました。

この事業は自然と共生した美しい街並みづくりを協働で行う「暮らしのまちプロジェクト」の一つです。参加者は「アジサイは公園の外の道路からも見えるので、通行する人にも楽しんでほしい」と、話していました。

5/26 地域の課題を共有しました

～平井地区でまちづくりトーク～

▶30人ほどの参加者が熱心に地域への思いを語り合いました。



市長が地域の皆さんと身近に語り合い、市政への意見や提言をいただく「市長とまちづくりトーク」を上井手上区集落農事集会所で開催しました。

市長が荒尾市の現状について説明した後、地区からさまざまな意見が寄せられました。災害時の避難所の確認、学童保育の設置、里山への支援など地域に根差した意見が多く出され、まちづくりのための有意義な時間となりました。今後の市政に生かしていきます。

寿

100歳 おめでとうございます！



北野大吉さん (川北)

5月25日に100歳のお誕生日を迎えられました。以前は、農業の仕事をしていて、トマト・キュウリ・白菜・ホウレン草などいろんな野菜を家族で作っていました。農業指導の経験もあるそうです。現在は、グループホームでのんびりと穏やかな時間を過ごしています。



松尾サツキさん (西原町)

6月3日に100歳のお誕生日を迎えられました。温泉が大好きで、毎日のお風呂を楽しみにしています。グループホームのスタッフとおしゃべりも大好きだそうです。長生きの秘けつは「食べ物に好き嫌いがないことと、くよくよ考えこまないこと」と、話していました。

ちびっ子ひろば

第6回 荒尾めぐみ幼稚園

幼稚園・保育園での子どもたちの様子を紹介します。ご近所のあの子も登場してるかも！



6月9日、荒尾めぐみ幼稚園の園児たちは歌を歌ったり、園庭で元気に体を動かしたりして遊びました。キリストの教えの下、「ありがとう」「よかったね」「ごめんね」が言える子にと育てられている子どもたち。礼拝ではしっかり話を聞き、遊ぶときは思いっきり遊び、メリハリのついた生活を送っています。

園舎は歌人・柳原白蓮などから支援を受けて65年前に建てられましたが、ことし、建て替えられます。その前に卒園生の関島秀樹さん※と園でコンサートをしようと、園児たちは歌の練習を頑張っていました。



- 1 歌の練習
- 2・5 外遊び
- 3 昼食
- 4 献金の折り
- 6 掃除
- 7 誕生日の子のお祝い

※あらお観光大使・シンガーソングライター